

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハートランドPOMUきっず		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動あそび・日課プログラムを軸に、運動・学習の両面から支援している。	運動あそびやイベントを通してルールを守る、お友達と協力するなどの社会性を育てている。	個々の発達に応じた支援プログラムを考えている。
2	放課後等ディサービス「ハートランドPOMU」につながるプログラムで、長期に渡り一貫したサポートができる。	日課の座学では、楽しみながら学習の土台となる力（小学校に向けて学習の基盤となるもの）を育てている。	ハートランドPOMUとの交流を図るため、定期的に訪問し、運動プログラムに参加している。
3	児童指導員、保育士、教員、と言った職員が療育にあたっている。	子供たちの様子の共有や情報交換を積極的に行っている。	毎回こまめにフィードバックを行う事で、プログラムの工夫や支援に活かしている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	ペアレント・トレーニングだけではなく、きょうだい支援もできていなかった。	保護者、きょうだいに向けてのイベントを年に一回は取り入れる。
2	保護者間の交流の場が少ない。	開所間もない為、機会がなかった。	次年度からは、年に2回の保護者会を実施予定。
3	認知度が低い	ホームページでの募集が弱かった（メールの不具合等）が、最近は問い合わせが増えてきている。	日常の様子をインスタグラムやフェイスブックなどSNSを活用し、頻繁に公開していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ハートランドPOMUきっず
------	---------------

公表日 2026年 3月 19日

利用児童数

13名

回収数 11件

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				とても広く、清潔に保たれています。	引き続き清潔で過ごしやすい空間を作るよう配慮してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10			1	苦手な事は、無理やりさせずにしてくださったり、好きなことはたくさんしてくださっていて、素晴らしい！	子供たちの特性については日々フィードバックを行い職員間で共有し支援につなげております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1	プリントを頑張った分だけ賞状をいただけるので、達成感と次に頑張る力をつけてくれる。	お子様の「できた」を視覚化し、達成感に繋げています。HPに公表している支援プログラムは、個別支援計画書にも記載しており、それに基づき支援を行っております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10			1		保護者様とのヒヤリングをしっかり行い、個別支援計画書を作成し、職員間で共有したうえで、保護者様の了承を得てサインをいただいております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			1		保護者様とのヒヤリングをしっかり行い、個別支援計画書を作成し、職員間で共有したうえで、保護者様の了承を得てサインをいただいております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11				それ以上にしてくださっています。	引き続き、計画からブレずに支援を行ってまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			1		プログラムが固定化されないよう職員間で話し合い工夫して取り組んでいます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4		2	5		放課後等デイサービス、ハートランドPOMUとの交流は定期的に行っております。今後はハートランドCAMPUS（認定こども園）とも交流の場を作りたいと思います。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3		3	5		必要に応じて検討していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10			2		事業所からは、連絡帳アプリでお伝えはしておりますが、保護者様からの回答が連絡帳アプリからは得られないため、検討していく必要があると感じております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	2		3	利用して間もない為、その機会がない。	半年に一度モニタリングを行っておりますが開所間もない為、半年に満たない方が多く在籍しております。半年に満たない方でも、ご希望があれば、相談援助を随時行っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			1		共感的に支援をされていると思っていただくよう努力いたします。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3		5	3	保護者会が月に一度あるとありがたい。参観日的なものがあればと思います。	開所して間もない為、機会がございませんでしたが、年度末に保護者会を開催いたします。進学進級に向けての悩み相談等、保護者間で共有・相談できる場を設けます。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			3		相談に関しては、対面での面談や電話での対応を随時させていただきます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			1		送迎時や連絡帳での情報伝達をおこなっております。場合により、電話やメールでの対応をさせていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			2		契約時の書面（個人情報使用同意書）に基づき対応させていただきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			1		避難訓練は定期的に行い、その様子をSNSで発信しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			1	直ぐに連絡していただき、とてもありがたいです。	怪我や体調不良の方が発生した場合、速やかに保護者様にご連絡させていただきます。状況によっては迎えに来ていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	1			とても楽しく通えているのが嬉しい毎日です。	より多くのお子様、保護者様に「通ってよかった」と思ってもらえるよう引き続き努力してまいります。利用開始から間もない為、行き渡りがたまにある方がいらっしゃいます。お子様の安心できる場所を提供できるよう努力いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1			相談したい事や急な時にLINEで連絡できるようにしてもらいたいです。	LINEでの連絡手段をと入れてほしいとのご意見をいただいております。事業所内で検討していく予定です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハートランドPOMUきっず					公表日	2026 年 3月 19日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		十分なスペースがある。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		写真や絵カードを使用して視覚的にわかりやすくしている。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		清潔に保つとともに安全に配慮し、環境整備を行っている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	パーテーションで仕切る工夫をしている。	クールダウンできる場所が必要。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎日のフィードバック時に、意見を出し合い業務改善に活かしている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		社内の質の向上委員会で見学会を行い、他の部署から出た意見を業務改善に活かしている。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4						
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		見学や体験の際に十分な聞き取りを行い支援計画の内容に反映させている。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4						
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4						
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節の行事、制作、外遊びなどを取り入れている個々の児童にとって同じ内容にならないよう配慮している。				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			朝、活動内容と担当について確認したり、児童の情報を共有したりしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			気になる点は共有し、改善点を話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			業務日報にその日の支援内容とフィードバックの内容を記入し、全職員が確認できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	2		就学時の移行の際、担当者会議を行う予定。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		協力医療関係機関に関しては重要事項説明書に記載している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1		必要に応じてサービス担当者会議への参加も検討する。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2		必要に応じ対応していく。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		同一法人の放課後等デイサービスとの交流は定期的に行っている。	同一法人内の保育園とも交流を深めていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			送迎や連絡帳で、丁寧に様子を伝えるよう心がけている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2			年に一回は開催する予定。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			相談があった際は、必要に応じて対応している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	年度末に保護者会を実施。	きょうだい同士の交流ができるイベントを企画していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		絵カードや手順表などで視覚支援を行うなど特性に応じた配慮をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		開所間もない為、地域へ向けてのイベントなどの規格が不十分。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4				